

第36回

難病・遺伝医学 セミナー

講演:日本人2型糖尿病の精密医療の実装に向けて

2022年

2月16日 水 18:00-19:00

順天堂大学10号館1階105カンファレンスルーム

講師紹介:門脇 孝先生

国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 院長

座長:岡崎康司(難病の診断と治療研究センター・ゲノム診療センター)

司会:新井正美(難病の診断と治療研究センター・ゲノム診療センター)

概要:日本人2型糖尿病は欧米人2型糖尿病と異なり著明な肥満を伴わずに糖尿病を発症し、インスリン分泌低下の遺伝素因が重要視されていたが、これまで日本人と欧米人に共通の2型糖尿病遺伝子しか同定されていなかった。我々は、史上最大規模のGWASを行い、新たに28の新規遺伝子を同定し、うち20は日本人に特徴的な2型糖尿病遺伝子であった(文献1)。次いで、東アジア人のコンソシームにて新たに計61の東アジア人に共通の遺伝子を同定した(文献2)。最近、日本人集団のデータを元にして2型糖尿病発症のpolygenic risk scoreを作成した。また、我が国で2型糖尿病治療に最も良く用いられているインクレチン関連薬の薬剤反応性遺伝子を同定した(文献1)。更に、全ゲノムシーケンシング法を用いて2型糖尿病合併症(網膜症・腎症)に関わる遺伝子について検討した。研究の最新知見と精密医療実装への展望について発表する。

参考文献

1) Suzuki K, et al.: Identification of 28 new susceptibility loci for type 2 diabetes in the Japanese population. *Nature Genetics* 51:379-386, 2019

2) Spracklen CN, et al.: Identification of type 2 diabetes loci in 433,540 East Asian individuals. *Nature* 582:240-245, 2020

申込方法:以下の申込フォーム・QRコードよりお申込みください。

※開催日までに詳細と招待URLのご案内メールをお送り致します。

<https://forms.gle/iQsBVp5rZkoiztwg7>

LIVE配信(Zoom)にて開催

2月15日(木) 17時締切

※当日は、順天堂大学10号館1階105カンファレンスルームで講演致します。聴講もできますのでお時間がありましたら会場までのご参加もお持ちしております。



お問い合わせ 難病の診断と治療研究センター/ゲノム診療センター
新井/原田(内線71407/5167)
共催:順天堂大学大学院医学研究科

順天堂大学大学院HP QRコード

